

33rd INTERNATIONAL COLLABORATIVE GROUP MEETING (ICGM)

2012年11月27日(火) 10:00~17:00

09:30	受付開始
10:00	開会のご挨拶 (CTCLS)
10:05	Lhasa Update 本日の ICGM の概要や、プロジェクトの概要等をご報告いたします。 (Lhasa Limited, David Watson - CEO)
10:20	Software Launch 次期リリース版 Lhasa Knowledge Suite をご紹介いたします。 (Lhasa Limited, Andrew Dodd - Sales)
10:45	Program & Knowledge & Data 次期リリース版において新たに追加・更新される予定の毒性予測アラート、代謝予測ルール、および、今後の開発プランについてご報告いたします。 (Lhasa Limited, Ernest Murray -Senior Scientist)
11:30	ゲストスピーカー講演 1: 医薬品中の遺伝毒性不純物の管理と安全性評価 現在、ICH において医薬品中に含まれる遺伝毒性不純物の管理と安全性評価に関するガイドラインの策定が進行中である(ICH-M7)。ここでは、不純物の変異原性(エームス試験結果)を、始めに(Q)SAR で評価することを推奨している。知識ベース、統計ベースの2つの(Q)SAR で評価し、最終的にはエキスパート判断で評価する。本ガイドラインは(Q)SAR を安全性評価に採用した初の国際ガイドラインである。 (国立医薬品食衛生研究所, 本間正充様)
12:00	ゲストスピーカー講演 2: 創薬初期ステージにおける遺伝毒性評価(DEREKの活用事例) 弊社では、一般的な遺伝毒性試験とともに、DEREK を実施しています。今回、芳香族アミン/アミド構造の化合物で、DEREK のアラートなしにも関わらず、Ames 試験で陽性になったケースをご報告致します。本構造に対する同業他社の皆さまのご対応とともに、創薬初期の遺伝毒性評価に関する考え方について意見交換したいと思っております。 (小野薬品工業株式会社, 井上敦人様)
12:30	昼食

13:30	Science Strategy Lhasa 社の科学的側面からの戦略や現状、今後のプランについてご報告いたします。 (Lhasa Limited, Carol Marchant - Research Leader)
14:00	Demonstration and Discussion of new Lhasa SAR tools 新しい Lhasa SAR ツールについてご報告させていただきます。 (Lhasa Limited, Thierry Hanser - Research Leader)
14:45	2013 Product roadmap and future plans 今後のプログラム開発プランを、過去これまで寄せられてきたフィードバックコメント、および Wish list session にて寄せられたコメントに基づきご説明いたします。 (Lhasa Limited, Nik Marchetti - Product Manager)
15:15	休憩
15:30	Wish list session Derek および Meteor に関するある議題について、ユーザー企業様と意見交換を行います。 (CTCLS, Lhasa Limited)
16:50	閉会のご挨拶 (Lhasa Limited)
17:00	セッション終了
17:30	懇親会